

大和証券グループとSDGs



社会に役立つ
お金の流れをつくる

「2030Vision」達成に向けて



株式会社大和証券グループ本社
執行役社長 CEO

中田 誠司

2021年度は、経営ビジョン「2030Vision」を掲げ、温室効果ガスの排出削減目標を含む「大和証券グループ カーボンニュートラル宣言」を公表しました。

近年、脱炭素社会への移行に向けた資金調達手段として注目されるトランジション・ファイナンスをはじめ、企業の社会課題解決のための資金調達のサポートは、総合証券グループの重要なミッションの1つです。

2022年5月、大和証券グループは120周年の節目を迎えました。この長い歴史の中で、当社グループは新たなことを次々と実現する「パイオニア」精神を培ってきました。時代と共に変化し続け、SDGs達成に向けた新たな資金循環の仕組みづくりに、社員一丸となって取り組んでまいります。

私たちを取り巻く世界には未だ多くの社会課題が山積しており、SDGsの達成期限である2030年に向けて、さらなる行動が企業に求められています。

こうしたなか、2021年度に公表した「2030Vision」を全役職員共通の行動指針として、SDGsをジブンゴト化すると共に、当社グループならではの課題解決に向けた貢献を模索してまいりました。

このブックレットでは、「2030Vision」のもとチャレンジを続けた最初の1年間の成果を、5つの重点分野ごとにご紹介しています。次の一步、そしてその先もステークホルダーの皆様と共に。

今後も当社グループの取組みにご期待ください。



株式会社大和証券グループ本社
取締役 兼 執行役副社長
海外管掌 兼 SDGs担当 兼 シンクタンク担当

(田代 祐子)

大和証券グループ120周年記念 子どもの未来プロジェクト



大和証券グループは、お客様、株主・投資家の皆様、地域社会、取引先、社員をはじめ、数多くのステークホルダーの皆様に支えられ、2022年5月1日に創業120周年を迎えました。

創業120周年を記念し、これまでご支援いただいた地域社会への感謝と、未来を担う子どもたちへの支援を目的に、「大和証券グループ120周年記念 子どもの未来プロジェクト」を企画しました。

本プロジェクトでは、全国の大和証券本・支店が選定する「子ども支援団体」^{*1}へ1億1,000万円、および「子供の未来応援基金」^{*2}へ1,000万円、総額1億2,000万円を寄付しました。

大和証券グループでは、貧困・格差の問題を重要な社会課題の一つであると考え、2017年より、困難な状況下にある子どもたちの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に、「大和証券グループ夢に向かって! こどもスマイルプロジェクト」を実施しています。

今後も引き続き、子どもの未来を応援する活動に取り組んでいきます。

*1 貧困状況下にある子どもの生活環境、学習環境、成長環境の改善など、子どもの将来の貧困リスクを低減することにつながる取組みを実施するNPO法人等の非営利組織

*2 子どもの貧困対策に係る官公民の連携・協働プロジェクトとして2015年に創設

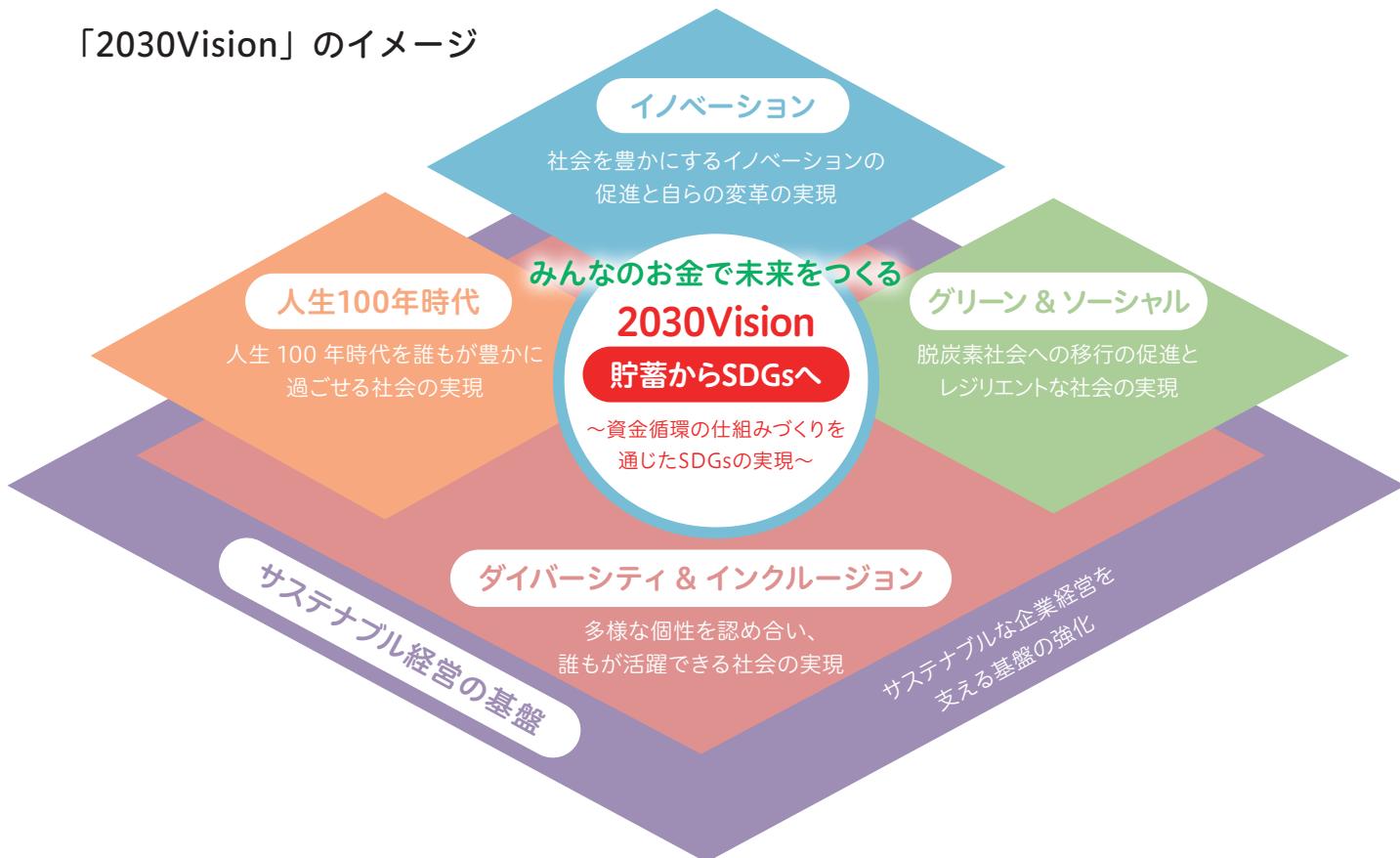
2030Visionについて

経営ビジョン「2030Vision」では、「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、“資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現”を目指します。

特に注力すべき重点分野・重点課題を「マテリアリティ」として特定しました。

また、現中期経営計画を「2030Vision」の達成に向けた最初の3年間の戦略と位置付け、その中ではビジョン実現の進捗を管理するためのKPIを設定しています。

「2030Vision」のイメージ



「2030Vision」におけるマテリアリティ

重点分野



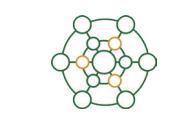
人生100年時代



イノベーション



グリーン & ソーシャル



ダイバーシティ & インクルージョン



サステナブル経営の基盤

重点課題

1. 豊かな人生100年時代の実現に向けた家計の資産形成・保全のサポート
2. 民間資金による地方活性化の実現
3. アジア地域の経済成長を金融面から支援

4. 社会を豊かにするイノベーションの実現に向けた企業の新陳代謝の加速支援
5. 新たな付加価値創出に向けた事業ポートフォリオの変革
6. 唯一無二の金融プラットフォーマーとして社会の変革をリード

7. 脱炭素社会の実現を支援するグリーンファイナンス/トランジション・ファイナンスの促進
8. 持続可能な社会の実現に資する新たな金融商品・サービスの開発・提供

9. 付加価値を提供できる人材の育成
10. 多様な個性を認め合い、誰もが活躍できる組織の構築

11. 健全で透明性の高い経営基盤の強化
12. 金融・資本市場の維持発展をリード
13. 次世代につなぐ美しい地球環境の創造
14. より良い未来のコミュニティ・社会の実現



人生100年時代

人生100年時代を誰もが豊かに過ごせる社会の実現に向け、金融のプロフェッショナルとして、多様化するお客様のニーズに合わせたソリューションの提供に取り組んでいきます。

大和証券

ダイワのフューチャー・デザイナー～未来のカルテ～

人生100年時代の到来を受けてライフプランの多様化・複雑化が進むなか、お客様お一人おひとり異なる人生の目標や夢の実現に向けて、中長期的な視野から資産全体に対するコンサルティングをご提供するサービスとして、大和証券は「フューチャー・デザイナー～未来のカルテ～」を導入しています。

お客様のさまざまなご要望に応えるために必要となる知識の習得に向けて、CFP®や証券アナリスト等、社員の資格取得を推進※しています。

それら専門知識と各種プランニングツールによる分析を活用し、ライフプランの検討や資産運用、相続対策まで、お客様の人生のあらゆるシーンでサポートを行なっています。

※ CFP®・証券アナリスト資格取得者数は、2023年度までに、3,000名以上にする目標を設定しています。CFP®認定者は、国内企業・団体で初めて1,000名を突破しました。この数値は、業界最高水準となっています。



大和証券

安心つながるラップ～資産承継に安心を。～

大和証券では、ご高齢のお客様向けラップサービスとして、「安心つながるラップ（安心つながる特約付ダイワファンドラップ）」の取り扱いを開始しました。

「安心つながるラップ」では、ご高齢のお客様が大切なご資産を“安心”してお預けいただけるよう、資産保全に特化した新たな運用スタイルである「資産保全重視スタイル」をご選択いただけます。また、大切なご資産をご家族へ“つなげる”ために生前贈与や相続対策など、あらゆる面から資産承継をサポートする付帯サービスをご用意しています。

人生100年時代を見据えて、ご高齢のお客様だけでなく、そのご家族にとっても安心していただけるサービスとして提供していきます。



グッドタイム リビング

ICTを活用した介護サービスの向上

グッドタイムリビングでは、ネットワーク通信を利用し情報や知識を共有することで、コミュニケーションを重要視したサービスの質向上および、間接業務の省力化に取り組んでいます。ご入居者の健康や生活に関する記録は、従来の紙からモバイル端末に変更しタイマーに入力。さらに多職種で情報を連携することで、省力化だけでなく、環境整備やケア内容の見直しなど、お一人おひとりに合わせたサービス提供にも役立てています。





金融機能を通じた社会を豊かにするイノベーションの促進に取り組むとともに、お客様へ新たな付加価値の提供に取り組んでいきます。また、ハイブリッド戦略^{*}の加速化・高度化を通じた自らの変革の実現を目指します。

大和リアル・エステート・アセット・マネジメント

大和エナジー・インフラ

太陽光私募コアファンド

大和リアル・エステート・アセット・マネジメント(以下「大和リアル」)は、ブラウンフィールドの国内太陽光発電事業を投資対象とした私募ファンド「DSREF コア・アマテラス投資事業有限責任組合」(以下「アマテラス」)を組成しました。

また、大和エナジー・インフラ(以下「大和エナジー」)は、アマテラスに対し、大和エナジーが投資する安定稼働中の太陽光発電所を順次抛出していく予定です。

これは、大和エナジーの投融資機能と大和リアルのインフラアセット・マネジメント機能を活用し、再生可能エネルギー分野におけるキャピタル・リサイクリングモデルを進展させるものであり、当社グループは、今後もオルタナティブ資産に対する投資家の運用ニーズに応えていきます。

*ハイブリッド戦略とは
証券業を核しながら、シナジーのある新規ビジネスへと事業ポートフォリオを拡大することで、収益基盤の拡大、収益の安定性向上を目指す戦略



アマテラスの初回組入物件である宮城県栗原市の太陽光発電所

大和総研

社会課題を解決するソリューション提供

[詳細はこちらから](#)



大和総研は、お客様が事業活動を通じて社会課題を解決するためのリサーチ・コンサルティングやシステムソリューションの提供を通じてSDGs分野での貢献を目指します。

ESG投資の拡大やコーポレートガバナンス・コードの改訂等に伴いサステナビリティ情報の開示に対する企業や投資家の関心が一層高まる中、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)開示および、それを踏まえた戦略の立案や対応策の策定を支援しています。「エネルギー・マネジメントソリューション」では、お客様の建物における電力使用量の情報を収集・分析し、CO₂排出量の情報と併せて可視化するシステムを提供することで、お客様のCO₂排出量の削減をサポートします。

また、健康経営の分野においても、従業員の幸福度を可視化する「従業員ウェルネスレポート」を新たに開発、お客様への提供を開始しました。

Fintertech

貸付型クラウドファンディングサービス 「Funvest(ファンベスト)」

[詳細はこちらから](#)



「Funvest」とは、Fun(楽しい)+Invest(投資)から生まれた造語です。

本サービスは、投資家の皆様からお預かりした出資金をもとに、国内外の借手に貸付を行なう貸付型クラウドファンディングサービスです。

投資家の皆様は匿名組合出資としてファンドに出資を行ない、Fintertechが資金運用を行ないます。借手から得られる金利収入が投資家の皆様へのリターンの源泉となり、自ら運用管理を行なうことなく、リターンの獲得が期待できます。



脱炭素社会への移行の促進とレジリエントな社会の実現に向け、社会課題の解決に資する金融商品・サービスの提供に注力していきます。また、再生可能エネルギー分野におけるアドバイザリー業務や事業投資に積極的に取り組んでいきます。

大和証券グループ カーボンニュートラル宣言

大和証券グループは、カーボンニュートラル社会の早期の実現に向け、2030年までの自社^{*}の温室効果ガス排出量 (Scope1・2) のネットゼロ、および2050年までの投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量等 (Scope3) のネットゼロ達成を目指す「大和証券グループ カーボンニュートラル宣言」を策定しました。

大和証券グループ カーボンニュートラル宣言

- ① 2030年までの自社^{*}の温室効果ガス排出量 (Scope1・2) ネットゼロ
- ② 2050年までの投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量等 (Scope3) ネットゼロ
- ③ 金融ビジネスを通じた脱炭素社会へのスムーズな移行の支援

大和証券グループの主な重点方針

ファイナンスを通じた 脱炭素社会実現	脱炭素社会実現に貢献する 新技術の支援・ ソリューションビジネスの 推進	脱炭素社会実現に 資する投資機会の提供
自社の環境負荷低減	パリ協定と整合的な目標設 定と透明性のある情報開示	グループ推進体制の強化

※自社の範囲は、連結ベースで算出予定

SDGs関連ファンドの ラインナップ拡充

特設サイトはこちらから



お客様のニーズにあわせたSDGs投資が可能になるようラインナップを拡充しています。

大和アセットマネジメント

「東京金融賞 2021」を受賞

「脱炭素テクノロジー株式ファンド(愛称:カーボンZERO)」と「みんなで育む明日への森」植樹プロジェクトの取組みが評価され、東京都主催「東京金融賞 2021」において、グリーンファイナンスの観点から特に優れた事業者を表彰する「ESG 投資部門 グリーンファイナンス知事特別賞」を受賞しました。



東京都並びに東京金融賞は特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。東京金融賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京都に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

本社ビルに自社グループの再生可能エネルギーを導入

2021年4月より、本社ビルに入居する全てのグループ会社で使用する電力の全量について、トラッキング付非化石証書^{*}を利用して実質的に再生可能エネルギーへ切り替えていました。この取組みは、本社ビルの賃貸人である三井不動産㈱との協業で実現しました。

また、同年7月より、上記のトラッキング付非化石証書を、大和エナジー・インフラ㈱が国内に所有する再生可能エネルギー発電設備由来へ切り替えており、グループを挙げた取組みとなっています。

※太陽光、風力、水力などの電源種別や、発電所所在地などの付加情報が付与された非化石証書

SDGsファイナンスの推進

大和証券グループでは、SDGsファイナンス専門チームを設置し、お客様である投資家、発行体のニーズに合ったSDGsファイナンスに係る商品・サービス・ご提案を提供するとともに、SDGsファイナンスの普及・拡大に貢献すべく、努めています。



SDGs債は、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券です。通常の債券と異なり、社会課題解決のための資金使途が特定されています。

グリーンボンド

地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に資するグリーンプロジェクトに要する資金調達

ソーシャルボンド

衛生・福祉・教育などの社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトに要する資金調達

サステナビリティボンド

グリーン及びソーシャル双方のプロジェクトに要する資金調達

サステナビリティ・リンク・ボンド

KPI・SPTsを設定し企業のサステナビリティ活動の目標達成を促す

トランジションボンド

脱炭素社会への移行を目指した中核事業のグリーン化に要する資金調達



大和ネクスト銀行

お預け入れが社会貢献「応援定期預金」

大和ネクスト銀行では、「応援定期預金」にお入れいただいた残高に一定割合を乗じた金額を、大和ネクスト銀行が4つのテーマに沿って選定した10以上の団体へ寄付しています。

2022年3月末現在、残高は約1,525億円となっています。2022年4月（2021年度下期分）には、888万円の寄付をすることができました（開業10周年を記念したチャリティイベントの寄付を含む）。なお、累計の寄付金額は、約6,200万円です。応援定期預金残高は、2023年度までに2,000億円以上の達成目標を掲げています。

お客様からは、「社会課題を知る良いきっかけになった」「同様の取組みがもっと広がると良いと思う」などのお声をいただいています。今後も、預金を通じた社会課題解決への取組みを進めています。

定期預金を通じて応援できる活動例

環境保護、障がい者スポーツ支援、子どもの医療支援、貧困の状態にある子どもの自立支援など





多様な個性を認め合い、誰もが活躍できる社会の実現に向けて貢献していきます。加えて、一人ひとりの社員が個性を発揮し、働きがいを感じられる組織の構築に引き続き注力します。

女性活躍の推進

大和証券グループは、ライフイベントの影響を受けやすい女性社員を対象とした研修を実施し、キャリアについて考える機会を設けるとともに、世代を超えたネットワーク構築を図ることで、女性マネジメント層のさらなる拡大を図っています。

また、女性活躍推進に優れた上場企業として、「なでしこ銘柄」に選定されました。社員向けのオンライン診療「ダイワオンラインケア」や「女性特有の健康課題」を包括的にサポートする「Daiwa ELLE Plan」を導入している点が評価され、「女性社員特有の健康課題を解決し、より女性が活躍しやすい環境作りを行なうためにフェムテック※を活用した具体的な事例」の「注目企業」としても紹介されています。

このような取組みを通じ、2030年に女性取締役比率を30%以上、2025年に女性管理職比率を25%以上にすることを目指し、女性活躍を推進しています。

※女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品（製品）やサービス



2014年以降、8年連続で両銘柄に選定

今後も社員の働きがいを高め、能力を最大限発揮できる環境をさらに整備することにより、お客様へのなお一層のサービス水準の向上に努めています。

※「なでしこ銘柄」と「健康経営銘柄」は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定

障がい者の採用

障がいのある社員が幅広く活躍できるよう、2011年度から正社員として募集する職制を総合職、エリア総合職およびカスタマーサービス職に拡大しています。

また入社後も、職制転向の機会を設けるなど、社員のキャリアアップを支援しています。2018年からはより一層活躍できるよう「Daiwa LEAP Plan[※]」を導入しています。

※「Daiwa LEAP Plan」は、通院のための休暇制度、就業サポート費用の補助、障がいに応じたサポートツールの導入等包括的な支援

大和証券キャピタルマーケット・ヨーロッパ (DCME)

女性CEOを任命

2021年10月、Megan McDonald氏を次期CEOとして任命することを発表しました。これにより、DCMEの取締役会に占める女性比率は40%に向かう見込みです。

Megan McDonald氏は、2017年にFinancial Newsにより「The 100 Most Influential Women in European Finance」の一人として選ばれました。



「プライド月間」キャンペーン

2021年6月、LGBTQ+の認知度向上と社会的権利への支持表明を目的として、DCMEとしては初めての「プライド月間」キャンペーンを行いました。LGBTQ+関連情報の社内発信や、同月内にEメール署名欄等に利用する社名ロゴをLGBTQ+の象徴であるレインボーフラッグの虹色のデザインへ変更を行なうなど、認知度向上を図りました。



お金についての 知識を幅広い世代へ

幅広い世代にお金に関する知識を広め、市場のお金の流れを活発にしていくことが、未来の金融市場の活性化につながると考え、多様な学びの機会を提供しています。



「おしごとはくぶつかん」への協力

小・中学生向けキャリア教育支援プロジェクト「おしごとはくぶつかん」に協力しています。

「おしごと年鑑」(書籍)・「おしごとはくぶつかん」(WEBサイト)・「EduMall」(教育コンテンツ配信サービス)で「働くこと」や「お仕事」についての情報を提供しており、子どもたちが将来の仕事に対するビジョンを描けるよう支援しています。

[「おしごとはくぶつかん」WEBサイト](#)



デジタル教材「『株式』について学ぼう」

GIGAスクール構想により学校でもデジタル化が進んだことに伴い、「株式」について学べるパワーポイント教材を新たに作成しました。指導案や説明例をノート機能に盛り込んでいるため、学校の授業でもすぐに活用いただけます。

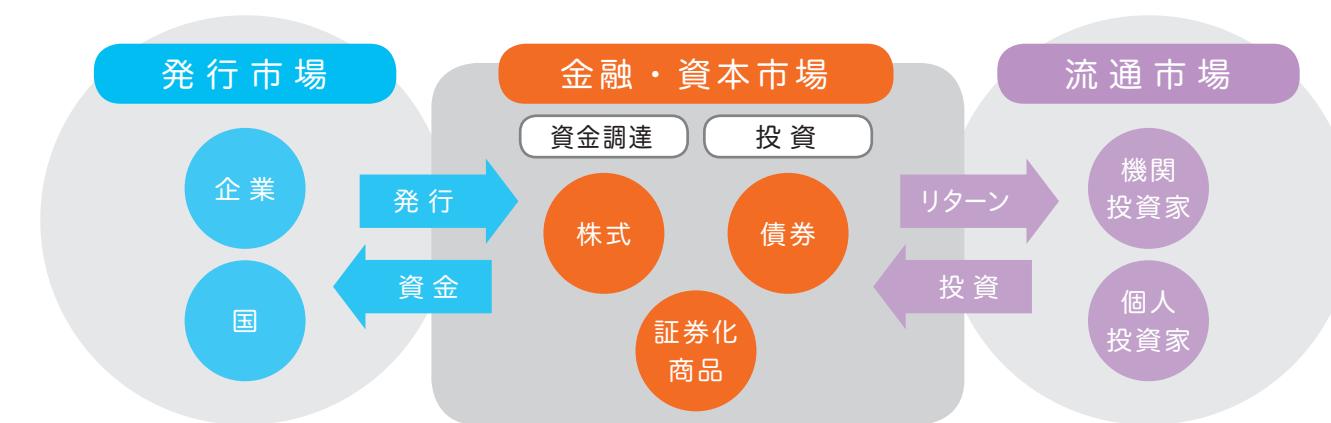


健全な 金融・資本市場を支える

資金を必要とする企業を応援し、資金の流れを生み出すサポートをしています。活発で安定した金融市場づくりに貢献して社会基盤を支え続けます。



大和証券グループの考える、社会のなかでの証券会社の役割



証券会社の役割

市場の信頼保護～市場が公平・公正になるよう取り組む～

企業等の
資金調達

新規上場の支援

有価証券の
売買のお手伝い

資産形成の
お手伝い

情報分析と提供

「ジーンズ・デイ」の実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方へのチャリティーのために、月に1日、役職員がカジュアルな服装で出社し、募金活動をするイベント「ジーンズ・デイ」を開始しました。

2021年度上期は、赤い羽根共同募金「支える人を支えよう！赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」へ募資金額を全額寄付しました。2022年3月は、ウクライナをめぐる今般の情勢を鑑み、日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」を寄付先として選定しました。1年で総額2000万円以上の寄付が集まり社会貢献活動への参画機会を創出するとともに、日頃と異なる雰囲気・コミュニケーションスタイルがうまれ、風通しの良い職場環境・社員のエンゲージメント向上に寄与しています。



「国際女性デー」にあわせ、 役職員の笑顔を集めた広告を制作しました！



たどり着けない
場所など、ない。

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」を掲げ、多様な個性を認め合い、誰もが活躍できる社会の実現を目指している。

性別、年齢、国籍、障がいの有無を越えて集うのは、それぞれの個性を発揮することが、企業の活力になると実感しているから。多様な意見や価値観こそが、新しいビジネスを生み出すと信じているから。そして、120年の歴史の中で受け継ぎてきたDNAがあるからだ。

たどり着けない場所など、ない。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

大和証券グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

Passion for the Best
大和証券グループ

(日本経済新聞 2022年3月8日付朝刊に掲載)

2017年6月発行
2018年6月改訂
2018年12月改訂
2019年6月改訂
2020年6月改訂
2021年6月改訂
2022年6月改訂



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

大和証券グループ SDGs推進オリジナルロゴマーク



サステナブルな社会の実現をイメージして社員がデザインしました。これをグループ全体で共有し、SDGs達成に向けた取組みを進めていきます。

大和証券グループの概要（2022年6月1日現在）

- 会社名 株式会社 大和証券グループ本社 (Daiwa Securities Group Inc.)
- 本社所在地 〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
- 電話 03-5555-1111 (代表)
- 代表者 執行役社長 中田 誠司



大和証券グループウェブサイト